



機械工学科後藤誠研究室の学生達とグリーンリーフ号2台の勇姿

## 目 次

### 卒業生・修了生に贈る

卒業式・修了式 校長告辭 02

### 平成17年度卒業生・修了生

卒業研究/専攻科研究テーマ・一言 04

卒業おめでとう 14

在校生からの送辞 15

雑文・帰去来の辞 16

日々新面白あるべし 18

退職のご挨拶 19

今年度の進路状況について 20

## 本科第39回卒業式並びに専攻科第2回修了式 告辞

# 鶴岡高専の新しい担手となって



本日ここに、多数の御来賓および保護者の皆様の御臨席をいただき、第39回鶴岡工業高等専門学校本科卒業証書授与式ならびに第2回専攻科修了証書授与式を併せて挙行いたしますことは、本校の学生と教職員一同の大きな喜びであります。

このたび、5年間の勉学と人間形成のふたつの道を見事に両立結実させ、晴れて準学士の学位を手にして果立つ本科卒業生は、

機械工学科	34名
電気工学科	34名
制御情報工学科	37名
物質工学科	32名

の計137名であり、この中には遠く母国を離れて勉学に勤んできた3名の外国人留学生が含まれます。

また、平成16年度に設置された専攻科からは、研究を中心とする2年間の学業を終えて、大学卒業生と同等の学力と学士の学位に加えて、日本技術者教育認定機構(通称、JABEE)の教育プログラム修了資格もえて、

機械電気システム工学専攻 13名  
物質工学専攻 5名  
の計18名の修了生が世に出てゆきます。

以上、総計155名の卒業生ならびに修了生に対して、まずは心からお祝いを申し上げます。諸君達を前途有為な若き人材として育成し、企業、大学工学部、大学院などの新しい世界に送り出すことができたことは、本校の大きな誇りであります。そして、本校への入進学の道を選び、本校の教育によく応えてくれた諸君達に改めて心から御礼を申し上げます。

保護者の皆様に申し上げます。見事に成長し、力強く果立ってゆく御子弟の晴姿を目の当たりにされ、御感概もひとしおと拝察いたします。皆様方のお喜びは、卒業生や修了生に優るとも劣らぬものと存じ、心からお祝いを申し上げます。また、本校への深い御理解と強い御信頼を賜り、大切に御訓育された御子弟を長い年月にわたり、本校にお預け下さいましたことに、厚く御礼申し上げます。

卒業生・修了生諸君。そっと瞼を閉じてみて下さい。

5年前あるいは2年前の春の日、実践的工業技術者あるいは先端的科学技術者への道を求めて、本校の門を叩いたときのことが、鮮明に蘇ることでしょう。そして、本校在学中に諸君達が体験した喜び、悲しみ、満足、悔悟などの様々な出来事や情景が走馬灯のように続くことでしょう。それらは全て、諸君達が本校で得た財産ですから、大切にして、これから長い人生において活用して下さい。

諸君達は、生を受けて以来、その時どきの年齢に相応して、勉学はもとより、身体や精神の健全な成長などの全ての面で弛まぬ自己努力を続けてきましたし、また今後も自信をもって続けてゆくことでしょう。諸君達は、幸にして、御両親から優秀な資質を受け継ぎ、本校入試の難関を突破し、家族の暖かい情愛に包まれ、良き友人に恵まれ、また、本校教職員の情熱溢れる教育指導や小中学校時代の恩師の篤い薰陶を受けて、今日の佳き日を迎えているのです。さらに、国家や社会は、諸君達の将来における貢献に期待して、国立学校である本校の学生1人あたり1年間に200万円の税金を投入してきました。諸君達のこれまでの人生では、諸君が周囲の人々や社会から受け取ったものは、諸君が与えたものに比べて、遙かに多く大きいのです。つまり、諸君の今現在の人生貸借対照表では、借方が極端に多く、貸方が少ない、大赤字決算になっています。しかし、このことは全く気にする必要はありません。気にしなければならないことは、人生の最終決算で大黒字にすることであり、まだまだ随分と先のことではありますから、日頃から肝に銘じて、報恩の心を一生持ち続けることです。自信をもって、正々堂々と人生を歩んで下さい。

ここで、私を常日頃から悩ませているひとつの命題を諸君達と共有し、できれば、無限の潜在力と未熟性が共存する諸君の知力を借りて、解に近付きたいと思います。それは、「人類は賢いか、愚かか」という命題です。進化論の範疇を別にしたたった5,000年の人類史だけを見ても、思想、社会制度、科学、技術、産業、医術などの多くの面で長足の進歩を遂げ、かつて兄弟だった猿との隔絶が決定的になりました。人類と猿との違いは、火を能動的に使うか否かと言われていますが、もうひとつ違いがあるように思います。それは教育形態の違いだと思います。猿に限らず高等動物の社会でも、教育や学習が行なわれていますが、それは本能伝承的なものであって、創造性や進化性はありません。一方、人類は5,000年以上も前の早くから学校教育、つまり社会進歩の

ための合目的的な強制教育を取り入れてきました。それでも、人類は21世紀を迎えるも、親近、地域、国家、世界に及ぶ貧困、病気、戦争、人権、独裁、不平等、差別などの社会問題を持ち続けています。科学技術は、これらの人類の問題の全部ではないにしても、その解決に十分資すると確信し、高度な学校教育を修めた諸君達には、技術者、科学者としてのみならず、社会人、職業人としての倫理に基づいて、その責務を十分に果すことを求めます。

本校は、3年前に創立40周年を迎え、5,000人の卒業生達が様々な社会で活躍しています。2年前には、専攻科を設置し、先端的科学技術の研究開発者の養成に乗り出し、今年は通称JABEEという日本技術者教育認定機構の教育プログラムの修了資格も得て、専攻科修了生の国際的活躍の土壌を獲得しました。

諸君達の前途も本校の前途も洋々たるもので、3年前の独立行政法人化により、本校を含む55校の国立高専は、多くの自由度と引き替えに、厳しい自己責任と競争的環境を付与されています。このような状況の下で、本校は「地域密着型高専」の校是の下に自立努力を続けますが、地域からの協力や支援だけでは、必ずしも十分でない事態も想定されます。卒業生と修了生諸君には、同窓会である峰友会の新しいメンバーとして、「鶴岡高専の新しい担手となって」本校の存立をかけた物心両面からの強力な支援をお願い致します。

諸君達が集い、幾星霜を過ごした庄内鶴岡は、歴史と文化の香り深く、美しい自然に恵まれた天地です。希望と自信に満ちた諸君達がこの天地を去るに当り、告辞を呈して譲と致します。

平成18年3月17日

鶴岡工業高等専門学校長 野中 勉

# 平成17年度本科卒業生/専攻科修了生 卒業研究/専攻科研究テーマ&一言

#卒業(専攻科)研究テーマ  
♪一言

## 機械工学科

指導教員 齋藤 攻悦・矢吹 益久



### ☆ 伊藤 嘉宣

#フィンの伝熱面積変化による効率  
♪5年間、低空飛行だったなあ。

### ☆ 梅津 敬弘

#エマルジョン燃料の発熱量と燃料条件  
♪卒業までが長かった。お疲れさん。

### ☆ 工藤 泰弘

#導体の接触熱抵抗について  
—球面—球面；高荷重の場合—  
♪あ～疲れた。

### ☆ 鈴木 怜奈

#三角異形フィンの伝熱特性  
♪楽しかったと思います。感謝です。

### ☆ 堀 信明

#ペルチェ素子による冷却装置の効果  
♪青春の5年間を返してください。

### ☆ 青澤 陽平

#ウェルズタービンの特性  
♪5年間で5年生が、一番辛く、楽でもあった。

### ☆ 今野 洋禎

#蓋を設けたねじ溝式真空ポンプの流量特性  
♪部活と勉強、共に充実した5年間でした。

## 指導教員 嶋屋 誠



### ☆ 海野 師輝

#高強度アルミニウム合金の疲労き裂進展

♪あっという間の5年間でした。

### ☆ 大場 寛文

#疲労き裂進展試験システムの改良  
♪流れる水の如く在りたい。

### ☆ 工藤 昇太

#恒温疲労試験装置の改良  
♪感謝の気持ちを忘れずに。

### ☆ 小口 智広

#高強度アルミニウム合金の疲労き裂進展  
♪かめ。

## 指導教員 加藤 康志朗



### ☆ 板垣 勇輔

#電磁クラッチブレーキ材の摩擦摩耗特性  
♪あっという間の5年間でした。

### ☆ 佐藤 雅之

#潤滑油膜中の気泡発生に関する研究  
♪5年間は終わってみれば短かったです。

## 指導教員 後藤 誠



### ☆ 遠藤 直樹

#燃料電池と太陽電池を用いたハイブリッド車の走行試験結果  
♪楽しい5年間だった。ロボコンも頑張れ！

### ☆ 斎藤 大輝

#汎用ディーゼルエンジンに  
エマルジョン燃料を用いた場合の運転状況  
♪充実した2年間だった。

### ☆ 高埜 真樹

#汎用ディーゼルエンジンに  
エマルジョン燃料を用いた場合の運転状況

♪大変な2年間でした。

### ☆ 渡部 啓太

#ソーラーカーの走行試験結果

♪5年間の一期一会に感謝！マタ会う日まで。

### 指導教員 白野 啓一・佐々木 裕之



### ☆ 阿部 康弘

#歩道確保用防雪柵形状の研究

♪5年間終わったー!!って、あと2年あるー♪

### ☆ 佐藤 和由

#二次元衝突噴流自励発振系の音響励起による制御  
—上下同位相・逆位相励起の相違—  
♪生きる。

### ☆ 庄司 淳也

#二次元衝突噴流自励発振系の音響励起による制御  
—上下同位相・逆位相励起の相違—  
♪一生愛し続けます♪

### ☆ 須藤 崇仁

#歩道確保用防雪柵形状の研究  
♪5年間、品川に似てました♪

### ☆ 佐野 勇策

#畦道走行ロボットのための畦道の推定  
♪ここでの2年間は、苦労の連続だった。

### 指導教員 本橋 元



### ☆ 佐藤 誠

#オープンクロスフロー型マイクロ水車の特性改善  
—傾斜案内路と円弧羽根の効果—  
♪元気ハツラツ？

### ☆ 佐藤 大和

#燃料電池と太陽電池を用いた  
ハイブリッド車の走行試験結果  
♪5年間というものは、長いものです。

### ☆ 鈴木 康司

#サボニウスおよびバッハ型垂直軸風車の特性に関する一考察

♪長いようで短い5年間だった。

### 指導教員 竹村 学



### ☆ 阿部 直也

#カリキュラム編成支援システムの開発  
♪充実した学校生活を過ごせました。

### ☆ 佐藤 直之

#マンマシンインターフェースの開発  
♪今おもえは楽しい5年間でした。

### ☆ 中野 裕士

#グループ分け問題の研究  
♪雪はきらいじゃー。

### ☆ 山木 潤一

#人員配置問題の研究  
♪山あり谷ありの5年間でした。お疲れ様～。

### 指導教員 五十嵐 幸徳



### ☆ 上野 拓磨

#新三元系16H型シリサイドの試作  
—Cr-Si-Ti系, Mn-Si-Ti系, Si-Zr-W系—  
♪永い5年間でした。

### ☆ 海東 敬

#PECS法によるシリサイドのち密体作製  
—BNスペーサのち密化への影響—  
♪ケガと事故ばかりの5年間でした。

### ☆ 土屋 忠徳

#Si-Ti-Zr系16H型シリサイドの生成状況  
♪なんとか卒業できそうです

### ☆ 富樫 靖

#Si<sub>3</sub>Ti<sub>2</sub>Zr<sub>3</sub>のMA-SHS法による作製  
♪ほら、今日も夜空がキレイだよ。

指導教員 鈴木 建二



☆ 大石 義明

#反応スパッタ法によるFe—N系化合物薄膜の合成  
♪5年間はものすごく長かったです。

☆ 斎藤 雄大

#反応スパッタ法によるFe—N系化合物薄膜の合成  
♪5年間の思い出は……製図です！

指導教員 土田 重征



☆ 金内 雄

#傾斜構造Taスパッタ膜の体積抵抗率  
♪剛直果断になる！！

☆ 田川 正憲

#Cu蒸着膜によるPVCを流れる電流の変化  
♪皆さんお世話になりました。頑張ります。

指導教員 江口 宇三郎



☆ 榎本 恒一

#光干渉計の製作  
♪「五年間おせわになりました。」

☆ 中原 亨

#カーボンマイクロコイルによる触覚センサーの研究  
♪これからガツガツ働きます。

☆ 山内 翼

#近赤外線レーザ及び短波長LEDによる果物計測への応用  
♪疲れました。

電気工学科

指導教員 福士 正幸



☆ 伊藤 尚輝

#単相多重インバータ  
♪一生懸命やれば皆救われる。

☆ 佐藤 賢男

#単相PWMインバータ  
♪就職が決まれば高専もまんざらではない。

☆ 三井 健司

#三相インバータ  
♪最大の難関はやる気を出す事。

☆ 若木 渉

#補助共振スイッチによる回路のソフトスイッチング化  
♪高専からの就職は有利だ。

指導教員 神田 和也



☆ 佐藤 大輔

#超音波センサによる距離計測  
♪ここで過ごせて良かった♪

☆ 佐藤 雄大

#コンデンサマイクロフォンによる音源定位  
♪5年間でだいぶしょんでしました。

☆ 橋 潤

#MOTEキットを用いた基礎データ収集による  
センサネットワーク応用の検討  
♪神田研に来れば、救われる!!

☆ 桃谷 司郎

#アンモニアガスセンセによる  
土壤中アンモニア態窒素定量値推定の検討  
♪なんとかなる。

指導教員 佐藤 秀昭



☆ 加藤 墾太郎

#ペルチェ素子による冷却装置の特性  
♪整理整頓。

☆ 金内 勇人

#LEDの形状のバリエーションと輝き方  
♪晴天をほめるには日没を待て。

☆ 常田 賢

#LEDのパルス照明による植物の生育  
♪寿司寿司寿司寿司紀の代寿司イー寒河江エ♪

指導教員 藤本 幸一



☆ 斎藤 龍

#太陽電池の設置角における受光効率の計算  
♪“今からでも”という可能性を。

☆ 笹山 洋平

#赤外線による走行車の遠隔制御  
♪成功のもとは努力だ！

☆ シローン

#テープの巻き取り計測制御システムの設計  
♪時間は思い出の蓄積。

☆ 松田 伸郎

#直列電動機による太陽追尾装置の制御  
♪夢を見て、夢を追いかけ、夢を喰う。

指導教員 吉木 宏之



☆ 斎藤 夕貴

#大気圧マイクロプラズマジェットによる  
ポリイミド膜の剥離  
♪5年間いろいろお世話になりました。

☆ 佐藤 努

#空中放電による正負イオンの発生実験  
♪横浜に行けば、成り上がれると聞きました。

☆ 白崎 圭介

#高電圧変圧器を用いた空中放電装置の試作  
♪勉強以外のことでも学ぶ事ができた5年間でした。

☆ 鈴木 健太

#マイクロ波励起プラズマの発生強度分布の測定  
♪おつかりいー!!!

指導教員 佐藤 淳



☆ 高橋 光

#無線センサネットワークMOTEの評価  
♪卒研室は真剣に選びましょう。

☆ 高橋 祐一郎

#暗号アルゴリズムMistyのハードウェア化の検討  
♪好きな事を一つでも見つけて下さい。

☆ 田中 英仁

#PDAを対象としたe-learningシステムの検討  
♪お疲れさまでした。

☆ 嶋腹 幸平

#MIPS M4Kプロセッサの設計と評価  
♪ありがとうございました。

☆ 半田 裕香

#ビデオコーデックが異なるMPEG4の評価  
♪ありがとうございました☆

指導教員 武市 義弘



☆ 尾形 洋紀

#2軸加速度センサを用いた歩行距離測定方法の検討  
♪みんな本当にありがとうございました！楽しかったです。

☆ 林 恭輔

#可視光通信の検証  
♪高専生活最後の一年が最もしんどかったです。

指導教員 保科 紳一郎



☆ 佐藤 幸太

#H8マイコンを用いたデータ転送  
～HTTPプロトコルを利用した音声ファイル転送の試み～  
♪これからも文武両道で頑張っていきます。

☆ 池田 孝明

#FD-TD法での計算の並列化  
～2次元、3次元空間計算の並列計算の検討～  
♪毎日勉強5時間頑張ります。

☆ 長谷川 俊輔

#温度分布の数値計算手法の検討  
～差分法での解析～  
♪知識は力なり。



制御情報工学科

指導教員 鳴瀬 勝房



☆ 加藤 星

#多変量解析による授業評価アンケート分析の試み  
♪やっと卒業します。お世話になりました！

指導教員 渡邊 隆之



☆ 大滝 太郎

#粒子法を用いた時の低速衝突現象に対する  
構造挙動の検討

♪5年間は短いようでかなり長かったです。

☆ 小松 嵩

#Excelを用いた有限要素法解析  
♪自学自習、できなかった(ノ∀｀)タハー

☆ 松井 大悟

#ねじり荷重を受ける切り欠き付丸棒の  
応力集中率に関する基礎的な検討  
♪本当にあっという間の5年間でした。

指導教員 丹 省一



☆ 阿部 悠輝

#垂直軸風車の特性に関する一考察  
♪ガンバレ加藤ジョージ！高専に金を。

☆ 大沼 喜也

#燃料電池ハイブリッド車とソーラーカーの走行特性比較  
♪がんばれ高専生、がんばれバト部、がんばれ自分。

☆ 伊藤 明美

#燃料電池・太陽電池ハイブリッド車の走行試験結果  
♪無遅刻・無欠席達成できなくて残念ですわ。

☆ 金山 訓

#オープンクロスフロー型マイクロ水車の特性改善  
♪ハイセンス 緑の悪魔 ジュンコだよ

☆ 藤原 靖夫

#試作ウエルズタービンの運転に関する研究  
♪0という数字に無限の可能性を感じられる。

指導教員 大久保 準一郎



☆ 斎藤 義文

#ネットワークにおけるパケット解析  
♪片道、40分のバイク通学でした。

☆ 佐藤 鈴佳

#Javascriptを利用したWebページについて  
♪5年間、日一杯、楽しめました☆

☆ 田中 祐樹

#求人情報検索システム  
♪お世話になりました。

☆ 三田村 真洋

#ニューラルネットワークによるパターン判定  
♪5年間、いろいろありました。

指導教員 宮崎 孝雄



☆ 加藤 圭

#レーザ光によるだだちゃ豆種子の判別  
♪多くのことを学んだ5年間でした。

☆ 吉泉 聖司

#原色識別カラーセンサーの開発  
♪卒業そして就職これはオレの物語だ。

☆ 若生 直也

#糊米の内部割れ検出技術  
♪5年って、短かったな。

指導教員 市村 智康



☆ 土田 直樹

#バルスオキシメータ対応型生体シミュレータの  
ためのキャリブレーションプログラムの作成  
♪午後のコーヒータイム。1人の時間を大切に。

指導教員 吉住 圭市



☆ 田村 勝

#Webを用いた蔵書管理システムの開発  
♪お世話になりました。卒業できそうです。

☆ トウギー

#微生物コロニー計数システムの改良  
♪鶴岡での3年間は、貴重な経験となりました。

☆ 松田 徹

#Wikiによる卒業研究ノートの電子化  
♪在学中の5年間大変お世話になりました。

指導教員 柳本 憲作



☆ 伊藤 貴

#音声認識に関しての調査及び研究  
♪長かったような短かったような5年間でした。

☆ 今井 久美子

#DSPボードによるファンの異常診断装置の開発

♪工場見学が楽しかったです♪

☆ 長谷川 達也

#クーリングファン用スリット状共鳴器モジュールの開発

♪5年間楽しいことだけの高専生活でした。

☆ 本間 国広

#音響を利用したアブの駆除装置の研究・開発

♪大変だったけど楽しい5年間でした。

☆ 松木 寛知

#マイクロファン音の1/子ゆらぎ解析の研究

♪沢山の素晴らしい仲間と出逢えた(≥▽≤)

指導教員 渡部 誠二



☆ 青柳 裕大

#DSP ボードによる小型能動騒音制御装置の開発

♪オレ…あと二年(^▽^;) ガンバル。

☆ 佐藤 敬幸

#TSP 法によるインパルス応答の計測システムの開発

♪1日1日を大切に。

指導教員 安齋 弘樹



☆ 浅田 泰輝

#OpenCVを用いたリングメモリ画像処理

システムの開発と雷観測システムへの応用

♪長かったけど、楽しかった。

☆ 梅木 智光

#SAR画像による植生分布に関する

基礎的解析の検討

♪5年間お疲れ様でした。

☆ 佐藤 有華

#ピークホールドを有する

磁界検出型雷観測装置の開発

♪ありがとうございました。

☆ 高橋 専一朗

#3DCADによるマイクロ波融雪装置の

効果的表現とエンターテイメント

♪生涯学習。アイキャン。

☆ 田村 健

#画像処理を用いた融雪装置評価システムの開発

♪5年間楽しかったです。

☆ フェビアン

#3次元ロボットビジョンシステムに適用する

アイリスの制御とその応用

♪これから的人生を楽しんでいきたい。

指導教員 三村 泰成



☆ 早坂 勇亮

#三次元形狀データを用いた自動有限要素解析

♪入学したらもう卒業、位にあつという間です。

☆ 齋藤 恵太

#モーションキャプチャを用いたスパイクの動作解析

♪5年間いろいろあったけど楽しかったです。

☆ 鈴木 博子

#アリの行動原理を用いた荷物収集システムの検討

♪5年間色々お世話になりました。

☆ 清和 美季

#汎用CGソフトを用いた動作解析の可視化

♪祝！卒業！皆さんありがとうございました。

物質工学科

指導教員 佐藤 貴哉



☆ 荒木 孝将

#低粘性イオン液体の電気二重層キャパシタへの応用

♪バカで素直ないいクラスでした。ありがと。

☆ 大川 隆

#ポリマー電解質の合成と特性評価

♪長らくお世話になりました。

☆ 大貫 祐矢

#蓄電デバイス用新規炭素材料の研究

♪光陰矢の如し五年間でした。楽しかった。

☆ 成富 拓也

#重合性イオン液体からなる不燃性電解質の

合成と物性評価

♪楽しい5年間でした。あと2年よろしく！

指導教員 菅原 晃



☆ 信夫 俊介

#2つのカルボン酸エステル基を持つ五員環

ケテンシチオアセタール類の合成とスチレンモノマーへの導入

♪また、(2+α)年、お世話になります。

指導教員 佐藤 司



☆ 五十嵐 友二

#超音波照射下における樹脂の熱硬化反応

♪5年間はすぐに終わるから時間は大切にね♪

☆ 滝口 侑

#超音波照射を利用したラジカル重合反応

♪高専最高フォーム。

☆ 菅原 健吾

#綿フィプロインタンパク質を含む高分子ブレンドの研究

♪先生方、お世話になりました（もう本当に）。

指導教員 瀬川 透



☆ 芦野 壮

#フォトクロミズムの耐久性に対する置換基の効果

♪つらかったこの5年間を思い出しつづけたい。

☆ 斎藤 秀幸

#メロンの成熟度判定試薬の開発

♪生涯、化学を好きであります。

指導教員 竹田 真敏



☆ 黒田 慧篤

#出芽酵母14番染色体上ASC1/RAS2遺伝子の

破壊様式と遺伝子破壊酵母の呼吸能

♪卒業写真のあの人は優しい目をしてる♪

☆ 後藤 友輝

#atp1-2変異酵母XJY11の

atp1-2遺伝子破壊酵母XJY4011の性質

♪これからも頑張るっす。

指導教員 飯島 政雄



☆ 門崎 夏子

#グルコシル分岐シクロデキストリンの酸加水分解

♪毎朝遅刻せずに来れた！ 5年は長かった…。

☆ 神尾 里美

#綿タンパク質へのシクロデキストリンの導入

♪寂しくなるなあ。みんないいってらっしゃい☆

☆ 八尾坂 景子

#長鎖アルキル基をもつ

両親媒性シクロデキストリンの合成

♪思い出が沢山できました。 (\*^▽^\*)

指導教員 小谷 卓・阿部 達雄



☆ 川崎 杏菜

#産業廃棄物を利用した活性炭の製造と  
水浄化実験

♪ババママありがとうございます！楽させてみせます！

☆ 大沼 瞳

#産業廃棄物を利用した活性炭の製造と  
環境浄化材への応用

♪個性的なキャラがいっぱいでした。

☆ 佐藤 貴洋

#山形県の降水中の化学成分の特徴について

♪ジャイアンやフリーザがいました。

☆ 佐藤 航

#鶴岡市のエアロゾル中の化学成分の特徴について

♪フットワーク大切にした方がいいんだぞ～。

☆ 土田 雄一

#水生生物を用いた庄内地方における  
環境水の評価

♪おれのコメント読んでも面白くないよ？ん？

☆ 板垣 さやか

#化学物質が環境生物に及ぼす  
複合影響に関する研究

♪最高の仲間に出会えました。ありがとうございます!!

指導教員 清野 恵一



☆ 梅田 俊祐

#二水石膏と酸化カルシウムの混合粉碎碎裂物から  
調整した硬化体の機械的特性に及ぼすシリカ添加の影響  
♪ロボコンに情熱を注ぎすぎた5年間でした。

☆ 勝又 祐樹

#酸化チタンの光触媒作用に及ぼす乾式粉碎の影響  
♪2年間、大変面白く過ごさせて貰いました。

☆ 櫻井 大地

#凍結乾燥法による燃焼触媒の調整と触媒活性の評価  
♪6年間ありがとうございました。

指導教員 栗野 幸雄



☆ 今井 翔

#単斜晶系チタン酸のLi<sup>+</sup>/Na<sup>+</sup>混合系での  
イオン交換反応

♪とりあえず卒業させて(>\_<)

☆ 原田 朋美

#単斜晶系チタン酸のイオン交換における構造的検討  
♪U先生かっこいいです ('(エ)')

☆ 今野 美代子

#単斜晶系チタン酸のイオン交換反応の証明  
♪『理屈じゃない』は説得力がありました(=^=)

指導教員 戸嶋 茂郎



☆ 武藤 美佳

#ウシ生体由来胚およびウシ体外受精胚の  
呼吸活性の比較

♪このクラスでよかったなあって思います。

☆ 佐藤 琢真

#TiO<sub>2</sub>共析電析膜の光カソード防食  
♪濃密でいてあっという間の5年間でした。

## 指導教員 佐藤 隆士



### ☆ 荒生 拓真

#ガラスの硬度に及ぼす水の影響

♪そうだ第二章を今ここで始めよう。

### ☆ 井上 翼

#空間選択的原子加熱による

新しいガラス複合材料の創製

♪卒業は夢のスタートにすぎない。

### ☆ 鈴木 太志

#空間選択的結晶化による

$\beta$ -BaB<sub>2</sub>O<sub>4</sub>単結晶導波路の作製

♪弟をよろしく。

### ☆ 斎藤 寛

#2次元・3次元き裂先端の

破壊力学パラメータに関する研究 (渡邊)

### ☆ 白幡 大樹

#マイクロ波融雪装置による道路加熱の実験と  
その電力見積り (安斎)

### ☆ 長谷川 太一

#防風を兼ねた案内羽根付き

クロスフロー型風車列の出力特性 (本橋)

### ☆ 若杉 基生

#音響を用いた小型DCファンの品質診断 (柳本)

### ☆ 池田 聰

#マイクロプロセッサの設計と

設計手法の評価 (佐藤(淳))

### ☆ 竹ヶ原 正晃

#Handel-C を用いたカルマンフィルタの設計

(佐藤(淳))

### ☆ 鈴木 貴斗

#サバール板を利用した差分干渉計による

微小段差計測 (宮崎)

### ☆ 斎藤 佳知

#FDTD法を用いたマイクロ波融雪装置の

シミュレーションと融雪の評価 (安斎)

### ☆ 岡部 雅史

#FD-TD法を用いた電磁界解析

—カテーテル先端部の電極近傍の電磁界解析—(保科)

### ☆ 松田 大典

#車載機器に侵入するノイズの解析 (保科)

## 専攻科

### 物質工学専攻(5名)

#### ☆ 小池 沙香

#人工漆の生産を目指した

ウルシノキ細胞培養法の検討 (南・竹田)

#### ☆ 中嶋 和之

#ベンゾ[b]チオフェンの有効利用を目的としたベンゾ[b]  
チオフェン[2,3-d]-1,3-ジチオール-2-チオンの合成 (菅原)

#### ☆ 今野 完昭

#自然海水中におけるSUS304ステンレス鋼の  
腐食挙動 (戸島)

#### ☆ 志田 陽子

#ジシアノフルベン二量体の光反応機構 (瀬川)

#### ☆ 藤原 将平

#フォトクロミック分子を利用した  
可逆的重合が可能なモノマーの合成 (瀬川)

### 機械電気システム工学専攻(13名)

#### ☆ 加藤 翔平

#転がり軸受けの保持器を利用する  
トラクション減速機の特性 (加藤)

#### ☆ 梅津 賢

#滑り潤滑下の油膜内気泡発生に関する研究 (加藤)

#### ☆ 千葉 尚人

#進行波型超音波モーターの  
トラクションドライブ化の試み (加藤)



# 卒業おめでとう —担任からの言葉—



これまでに培った勇気と行動力そして何事にもひるむことのないしなやかな心で自分の未来を切り拓いて下さい。高専卒業という偉業を遂げた君たちですから、できないことなどないはずです。心よりご健闘をお祈りします。

総合学科  
田邊 英一郎



ご卒業おめでとうございます。  
これから社会人として皆さんへ次の言葉を贈ります。  
「自己の"serendipity"を磨き七人の侍(敵)と戦うことを覚悟せよ」

制御情報工学科  
安齋 弘樹



卒業までたどり着いた皆さん、おめでとう。  
2年間、よく付き合ってくれました。感謝。  
最後に一言。遊びにしろ、  
酒飲みにしろ、仕事にしろ、  
周りが楽しませてはくれません。  
楽しみは自分で見出すもの。  
頑張って下さい（はめを外さずに）。

機械工学科  
後藤 誠



卒業おめでとう。  
もう卒業ですか。あっという間ですね。  
1泊だったスキー教室。校内球技大会は、2年でバドミントン3位、サッカー2位、秋季総合2位でした。  
早く工場長、社長になれよ。

物質工学科  
金綱 秀典



何となく自然にその集団の一員として、そこに居れたことに誇りを持ってください。他人を認める気持を忘れないで下さい。そして、大きな夢をずっと持ち続けてください。素敵なお人生でありますように。

機械工学科  
大和田 智義



“出会いは人生の糧”  
大切に

物質工学科  
佐藤 隆士



「これからは『報連相』  
が大事です。」

電気電子工学科  
佐藤 淳



ご卒業おめでとうございます。  
5年前のやんちゃ坊主、  
おてんば娘が二十歳の凛々  
しき青年として母校を果立  
っていく様子を思い浮かべ  
るのは「三楽」のひとつです。  
諸君の大成を期待しています。  
最後に誠実こそ勝利の鍵です。

茨城高専  
瀬尾 邦雄

# 在校生からの送辞



5年間お疲れ様でした

学生会長 松田 洋平



ご卒寮おめでとうございます

寮生会長 栗田 敦志

5年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さん、この鶴岡高専で5年間という長い期間を過ごしたわけですが、辛く長い5年間も今思えば、きっと、あつという間の5年間だったのではないかでしょうか。辛いこともたくさんあったことだと思いますが、いい思い出でも山ほどあることでしょう。これらの経験は今後の人生の中できっと役に立つはずです。胸を張って鶴岡高専を卒業したと言っていいと思います。

私は今年度、学生会長を務めたわけですが、予想どおりわからないことばかりで大変でした。ですが5年生の学生会役員だった方々が忙しい中いつも助けてくださいました。本当にありがとうございました。今年度の仕事の内容としてまず、部活の予算決めがありました。私たち学生会役員が、部活の人数や活動状況を参考にし、色々悩んで予算を考えました。そして、予算の確認をしてもらうために部活の代表者に集まって頂いたのですが、ほとんどの代表者が5年生だったのでとても不安でした。去年よりも予算を削減した部活もあったので、色々言われるだろうと思っていたのですが、誰も文句ひとつ言わず了承してくれました。その上、帰り際に「たいへんだったろう？お疲れ様！」と言ってくれる先輩もいました。そのため少しの変更もなく決定することができました。これも皆さんのおかげです。ありがとうございました。また、文化祭の準備では去年の文化祭実行委員の先輩方にお世話になりました。去年の経験からたくさんのアドバイスをして下さいました。準備が遅れているときは作業も手伝っていただきました。おかげさまで、いい文化祭にすることができました。

私たち4年生にとって5年生の皆さんは1年生のころからずっとお世話になった先輩方です。勉強、部活などで、困ったことがあるといつも助けて下さいました。学生を代表してお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

5年生の皆さん、これから一人一人別々の道に進むわけですが、鶴岡高専で得た仲間をこれからも大切にし、学校での経験を生かしてこれからも頑張って下さい。皆さんの様々な分野での活動を期待しています。

ご卒業、そしてご卒寮おめでとうございます。

5年生の皆さん、5年間の学校生活、そして寮生活を振り返ってみてどうだったでしょうか。たぶん皆さん口を揃えて「大変だった、辛かった」と言うと思います。ですが、そう思えるということはそれだけ今まで努力してきたということだと思います。皆さん本当にお疲れさまでした。

皆さん知ってる通り、寮では4年生が寮の役員を務めることになっています。私は今年度、寮生会長を務めさせて頂いたのですが、最初は「5年生がいてやりづらいな。ちゃんと5年生に対して指示できるのかな。」と不安に思っていました。しかし、いざ始まってみればそんな不安は全く無くなりました。寮の集会などでは私たちが指示する前に、率先して動いていただき、寮の行事などにもお忙しい中たくさんの方に参加していただきました。この場を借りてお礼申し上げます。また、私を含め今年の役員は、少しお騒がせしたところもありました。そんなときもたくさんの先輩方に励ましていただきながら、今まで寮生会長として頑張ることが出来ました。本当にありがとうございました。

5年生の皆さん、これからそれぞれの道に進んでいくわけでありますが、この鶴岡高専での学校生活、寮生活で学んできた色々な経験を活かして頑張ってください。そして、たまには寮に遊びに来てください。

最後に、我が鶴鳴寮の寮訓は「明・嚴・美」であり、思いやる心、己に克つ心、品位を大切にする心という意味です。5年生の皆さんには新しい生活でもぜひこれを実践してほしいと思います。



# 雑文・帰去来の辞

校長 野中 勉



思いもよらぬ御縁あって、平成12年春に鶴岡高専校長に迎えていただき、早くも6年の月日が流れ、このたび定年退職させていただくことになりました。本校の学生・教職員はもとより地域の方々から寄せられた御交誼は、未熟な私にとって何よりの勇気づけであり、鶴岡の地は好奇心の強い私にとって何よりの環境でした。私の人生中の10%足らずの年月でしたが、余りにも豊かで充実した時でした。人々と鶴岡と本校にまづもって心から御礼を申し上げます。

生來、感性に乏しい私ではありますが、このたびの退職は自ら求めたものでありながら、万感胸に迫るものがあります。そのためか、書きたいことが山ほどあるのに想を整理することができず、取り留めない雑文をもって、お礼とお別れの言葉にさせていただく失礼をお許し下さい。

## 1. 掲題のこと

本稿の想が定まらず、もちろん題目などは微塵も現れず、困惑の続く日々のある夜半、陶淵明の「帰去来(の)辞」が天啓(救急車)の如く出現したのです。恥も外聞もなく、早速とびつきました。この辞は手許のポケット版国語辞典にも出ていて、「かえりなんいざ」と訓読されることは皆様よくご存知で、漢文から日本語(外来語の一種)として定着していますが、低学年生のために若干注記させていただきます。陶淵明は春秋時代六朝期の晋(約2,500年前)の地方官で、帰去来辞は最後の任地から故郷に帰る(退官隠棲)ときに叙したもので、六朝期(約200年間)第一の名文と言われています。そのような名文の題目をそのまま借用するのはさすがに畏れ多く、掲題では「雑文」の形容句を付して淵明への礼としました。

淵明の帰去来辞には家郷に「帰る」喜びが強調されているように感じますが、私の心境は逆に任地鶴岡を「去る」悲しみが重いのです。その意味では、掲題は「帰去来」ではなく「去帰来」とすべきかも知れませんが、漢文に暗く分明ではありません。

## 2. 家移りのこと

私は家移り(引っ越し)が大嫌いの保守・守旧の人間で、退職のため最後の家移りの準備作業に苦闘しています。外国での3回を含めて、家移り歴は15回です。

確かに家移りは煩わしいのですが、住処替えは旅行者や滞在者とは違う、住んでみて初めて分る諸事が多く、体験的に視野を広げる絶好の機会でもあります。若い人に、若くはない私のこのたびの鶴岡への家移りの成果が絶大であったことを伝えたいのです。神々しい月山の向こうには別の社会があり、美しい蔵王の先には異なる風土があり、そのまた先には新しい世界が、そして海の向こうには未知の領域が無限に広がっています。庄内鶴岡は良いところですが、若い人は一生を通じて遠くにも跳んで下さい。

## 3. ギフ蝶と英國犬のこと

赴任の年の4月上旬、第一体育館の辺りに貴いものがヒラヒラ、よく見るとギフ蝶でした。小学生のときからの昆虫コレクターでしたが、生きている姿を見るのは初めてで、その上品な美しさは新任地の人々の心映えを象徴するものと感激して受け留めました。その後、「蝶友」もできました。30年前に亡父の忠言により虫殺しは止めて、無殺生の昆虫鑑賞家になっています。

ところが、皮肉なことに愚息が虫大好きの赤子で、成長後は、虫殺しを止めた私の後を継ぎ殺虫稼業に精を出していましたが、嫁をもらって昆虫への関心が薄れ、今は昆虫標本管理家になっています。しかし、さらに皮肉なことに、その後、孫がわりの犬が優秀な昆虫コレクター(捕食)として3代目を継いでくれました。血は争えないのでしょうか?

その犬は、毎年2-3度鶴岡に来て楽しんでいますが、とくにNo Dogの高札のある某寺の駐車場を狩場にしているようです。実は、その犬は、ペット業者によれば純血

のイギリス犬で、犬種はCavalier King Charles Spaniel Tricolor というご大層なくせに、できる英語は「唯一」、「One」、「ワン」だけながら、私とともに庄内鶴岡の天地を気儘に楽しんできました。鶴岡の地勢環境は犬にも好かれており、「チュルオカ」は「サンボ」や「ゴハン」と同じくらいの快音のようです。



#### 4. 庄内鶴岡の山野海などのこと

「庄内鶴岡は山野海の風光、温泉、美味、銘酒、歴史に恵まれた土地です」と6回の年賀状に書いてきました。6年を経た今日でこそこれが全ゆる面で真正であることを確信していますが、鶴岡着任半年にして感得したことには密かに自負するところもあります。しかし、それは庄内鶴岡が発する優美ではあるが余りにも密やかな近達性波動によるものであって、広く遠く届く電磁波ではないことを懸念します。庄内鶴岡の外への一層の発展を祈ります。

#### 5. 入学・卒業式のこと

駄文を弄しているうちに、学校のことに触れる紙数が尽きようとしています。入学と卒業は入口と出口であり学

校の要です。その礼式の式辞・告辞は校長にとって最重要事項のひとつであり、極度に神経を使い、非才を嘆いてきました。

式辞や告辞を作稿するに当り主題テーマをしつらえてきましたので、平成12-17年度順に下記して、私の学生への思いの一端を示します。

##### (入学式式辞主題)

- 勉学と課外活動の両立を
- 新世紀の新入学生へ
- 生涯の友を得よ
- 新生鶴岡高専の担い手達へ
- 天は自ら助く者を助く
- 正課教育-自学教育-課外教育の三本柱が支える  
鶴岡高専の教育

##### (卒業式告辞主題)

- 科学技術立国を担う若き狼達へ
- 21世紀の天空に翔べ、若鷹の如く
- 希望と自信と不安を原動力とせよ
- 世界が諸君達の活躍舞台だ
- 競争と協調の実社会へ
- 鶴岡高専の新しい担い手となって

楽しく充実の日々でした。鶴岡と皆様、ありがとう、さようなら、お元気で。



# 日々新面目あるべし

教務主事 鳴瀬 勝房



卒業・修了おめでとうございます。諸君はこれから就職、あるいは、専攻科・大学・大学院等へ進学されますが、母校で学んだことの上に自らの手で磨きをかけ、さらに飛躍されるよう願っています。

さて、諸君が鶴岡高専で学んだ最後の年はJABEE元年の年でもありました。40年の歴史をもつ本校にとって、これまでに経験したことのない試練の年でした。教職員・学生が一丸となって、この難關をどうにか乗り越えられたことを、まずはともに喜び、大いに誇りにしたいと思います。

そのほかにも諸君が在学中に、本校ではいくつかの大きな変化がありました。その変革を目指すところは、教育・研究の個性化、活性化、高度化であり、平成15年にできた専攻科は、見なれた高専の庭に新しい風を吹き込みました。

何ごとも変化の激しい中にあっては、意識と行動を変えなくてはなりません。学生に対しては、猛勉強し、自ら考え、努力しつづけるよう求めました。「高専の学生である」から「高専の学生として何かをする」ことへの意識改革です。

諸君を待ち受けける社会もまた、求めるところは大同小異だろうと考えます。どのような企業で働くか、どこの大学で学ぼうか、自ら何もしようしない者は傍観者として取り残され、やがては境外に置かれてしまいます。どうか、このことを心に留め、積極進取の気概をもってそれぞれの道を邁進されるよう望みます。

春秋に富む諸君との別れに際し、ぜひとも紹介したいはなむけのことばがあります。学究であり歌人であるとともに書家でもあった会津八一(1881~1956)が勉学の心得として説いた「学規」がそれです。

- 一、深くこの生を愛すべし
- 二、省みて己を知るべし
- 三、学芸を以て性を養うべし
- 四、日々新面目あるべし

掲げられた四則にはいずれも人間を肯定する熱いまなざしを感じます。表現にうるおいがあり、読んでゆったり

した気持ちになります。

学校を卒業したら勉強は終わりという時代はとっくに過ぎ去りました。諸君は幸か不幸か、これからも懸命に学びつづけなければなりません。「学規」の教えは必ずや、何ごとかを学ぶ人の道標になるものと確信しています。

諸君が多感な青春の一時期を過ごした鶴岡は歴史と伝統のある町です。また、この地は文化の香りも高く、文学では芥川賞、直木賞作家を輩出しています。ここで、庄内が生んだ女流作家による一冊の本の中から、作者(故人)が羽黒山の参道を登ったときの内面をつづった一篇を引用したいと思います。

… やがて樹齢七、八百年という老杉に囲まれた五重塔が現れてくる。思わず仰ぎながら、この前を流れて行った膨大な時を思い、その時代、その時代の人々が、どんな想いを抱いて通り過ぎて行ったかを考え、自分もまた膨大な流れの一点に生を受け、やはりこの前を流れ去って行く者であることを知る。

森 万紀子『風の吹く町』、『わたしのふるさと』より

一行一行に動かしがたい重さを感じ、胸を打たれる文章です。諸君はあの苔むした二千余の石段を登ったことがあるだろうか。そして、何を想つたことだろうか。あわただしい日常の中にあっても、心の平静を取り戻し、自分と向き合う静かな時間をもつことは、とても大事なことと考えます。

さて、私事で恐縮ですが、私も本年度をもって定年退職致します。終わりに、諸君の前途に幸あれと祈り、先人が残したもう一つのことばを贈り、結びとします。

「人は人生の意味を知りたいのではない。生きているという実感を味わいたいのである。」

ジョセフ・キャンベル(1904~1987)

## 退職のごあいさつ

### 古く懐かしい思い出

機械工学科 斎藤 攻悦

昭和41年4月に着任以来、いつのまにか40年の歳月が経過してしまった。最初の10年は無我夢中で過ごしたような気がする。着任時はまだ完成年度になっておらず、若手の専門科目担当教官(当時)は多くの雑務に時間が取られていたようである。何故ならば実験・実習の設備の充実のため、必要とされる機器の選定や購入のため多くの先生方と打ち合わせをしたり、今後の方針を決めなければならなかったためである。そして完成年度を迎えると先生方の人数も増え、分野別の担当もはっきりして活気に溢れた教育が行われていた。当時の学生は高専設立の趣旨に対する今後の社会の評価を担うという意識がはっきりしており、そのため熱意に燃えて学習していた。

当時の校内は通路の舗装もなっておらず、赤土が常に剥き出しの状態であり、雨上がりの日にはいつも長靴での通勤であったことが思い起こされる。周囲の人達からは高専スタイルと呼ばれていたのが懐かしい。そしてこの高専スタイルという言葉にはかなり尊敬の念が含まれていたような気がする。

自分が非常に苦しんだのは昭和45年に物理実験の担当も頼まれ、K先生と手作りの装置の製作にあたった時である。図面を書いて工場に行き遅くまで機械と格闘したことが印象に残っている。さらに、熱力学担当の先生が急に辞任され、当時の主任から代わりの先生が来られるまでの間、授業を受け持っていたいとの依頼もあり、自分の専門外の授業であったのでその準備にも時間がとられて気を抜く暇がなかった。それがいつの間にか熟練の専門をほとんど受け持つようになってしまって今日に至っている。しかし、このことは懐かしくはあれ後悔することはない。

本校の教育が軌道に乗ってからはカリキュラムの改訂毎に新規の授業科目が入り、先生方も徐々に若返ってきたのでお互いに刺激しながら学生ともども必死になって取り組んでいた。

本校も創立40周年を越えた今、充実期にあると思える。今後の皆様のご活躍と本校の発展を祈念して離任の挨拶とする。



感謝!! 感謝!! 感謝!! …

学生課 工藤 良三



定年退職。仕事柄、何度も使ってきた言葉だが、ついに今度は自分自身に当てはめるときが来た。

思い返せば、今から遡ること42年前、この鶴岡高専が設置されてからまだ1年目の3月9日、高校の卒業式を終えて1週間しか経たないという自分が、同僚4人(男性2人、女性2人)とともに、今は跡形もない鶴岡高専の仮校舎(旧鶴岡二中跡)の事務室に顔を出した(出勤)のが、つい数年前のことのよう気がして、本当に月日の経つのは早いなと実感しております。

この間、山形大学医学部の総務課に2年間勤務しましたが、ほとんどはこの鶴岡高専に勤務し、諸先輩の皆様方、同輩・後輩の皆様方のお力添えで、何とか無事にお勤めを終えることができそうです。

鶴岡高専の創立年度から勤めていた職員もこの3月で退職する二人が最後となりました。

これからは、趣味のソフトボール(競技者、審判員)をやりながら地域の方々と歩んで参りたいと思っております。

最後になりましたが、鶴岡高専教職員の皆様方の御健康と御活躍、そして鶴岡高専の益々の御発展を祈念いたしまして、定年退職に当たり感謝の言葉といたします。

「お世話になりました」

学生課 丸山 和子



夢と希望を胸に昭和39年3月高校を卒業、そしてその感慨に浸る間もなく3月9日に初出勤。

当時はまだ一期生の学生のみで、恥ずかしさで顔も上げられなかつたことを覚えております。

爾来42年、とうとう定年退職の日を迎えました。仕事は、手書き、そろばんからパソコン等ITへと時代は大きく変わりましたが、何とか取り残されずに頑張れたのも皆様の温かい御指導があったからこそと感謝の念でいっぱいです。

この42年間、会計、庶務、そしてほんの数年ですが学生課で学生の皆さんに関わる仕事をすることができました。入学や卒業での感動、中途退学生への心痛等、いろいろな場面で一喜一憂したことが思い出されます。

退職後の生活を思うとき、まず健康で、自由な時間を精一杯楽しみたいものと今から心待ちしております。これからはOBとして、また一市民として、鶴岡高専の発展と皆様の御活躍をお祈り申し上げます。

「お世話になりました。」 皆様 お元気で!

# 今年度の進路状況について

学生課

今年度の就職状況は、企業側の業績回復により企業の求人数が増加してきたこともあり、就職希望者のほぼ全員の就職が内定しました。本校の学生に対する企業側の評価は高い反面、高専生としての能力を十分に選考する等、企業が求める人材であるか否かを慎重に見極める傾向があり、学生も安易な姿勢では希望する企業に内定できない状況となっていました。また、来春卒業・修了予定者への求人の出足は好調で、既に360社以上から求人票が出されています。このため、就職先の選択肢は幅広くなっていますが、学生は自分の適性を見極めて企業の情報を収集する等心がけているようにしたいものです。

また、編入学生受入大学の増加に伴い本校でも進学者が増えており、今春卒業・修了予定者155名のうち、62名の進学が決定しています。進学を目指す学生についても、自分の適性を見極めて進学先を決める等心がけてほしいと思います。

## 【進学内定先】

鶴岡高専専攻科  
北海道大学  
岩手大学  
秋田大学  
山形大学  
茨城大学  
宇都宮大学  
千葉大学  
東京農工大学  
電気通信大学  
新潟大学  
長岡技術科学大学  
富山大学  
豊橋技術科学大学  
筑波大学大学院  
新潟大学大学院  
北陸先端科学技術大学院大学  
専門学校花壇自動車整備大学校  
日本アニメ・マンガ専門学校  
専門学校東洋公衆衛生学院  
東北電子専門学校

## 【就職内定先】

(建設業)  
東北電機鉄工(株)  
(株)TTK  
三和メイテック(株)  
(機械工業)  
ユニチカテキスタイル(株)  
(株)クラレ  
(化学工業)  
東洋インキ製造(株)  
(株)テルナイト  
東和薬品(株)  
中外テクノビジネス(株)  
三洋化成工業(株)  
日新製薬(株)  
チッソ石油化学(株)  
三菱化学(株)  
(株)日本触媒  
日本化学産業(株)  
(株)三井化学分析センター  
ディップソール(株)  
(一般機械器具)  
(株)ITKユザックス  
墨田施設工業(株)  
日本自動ドア(株)  
(株)オーバル  
プラザーエンジニアリング(株)  
(株)シンクロロン  
(電気機械器具)  
東北バイオニア(株)  
ソニーイーエムシーエス(株)  
TDK(株)  
ソニー宮城(株)

## 【就職内定先】

オリエンタルモーター(株)  
スタンレー電気(株)  
(株)高砂電子機器製作所  
(輸送用機械器具)  
(株)いそのボデー  
(株)片桐製作所  
(株)JAL航空機整備東京  
日本飛行機(株)  
スズキ(株)  
(精密機械機器)  
(株)ニシカワ  
ミクロ技研(株)  
(金属製品)  
宏和工業(株)  
山形イハラ(株)  
(株)齊藤板金工業所  
(石油製品・石炭製品)  
出光興産(株)  
(その他)  
田中貴金属工業(株)  
(有)佐藤コンクリート  
慶應義塾大学先端生命科学研究所  
(運輸・通運業)  
東日本旅客鉄道(株)  
日本貨物鉄道(株)  
(出版・印刷)  
凸版印刷(株)  
(電気・ガス・水道業)  
中部電力(株)  
東北電力(株)  
(サービス業)  
(株)日産テクノ  
東芝エレベータ(株)

## 【就職内定先】

(株)テクモ  
日信電子サービス(株)  
(株)鶴岡自動車学園  
総合警備保障(株)  
ネットワークサービスアンドテクノロジーズ(株)  
日本空港テクノ(株)  
三菱電機システムサービス(株)  
ウィル(株)  
東北インフォメーション・システムズ(株)  
オムロンフィールドエンジニアリング(株)  
(株)日立東日本ソリューションズ  
(株)沖電気カスタマアドテック  
NECネットエスアイ・エンジニアリング(株)  
(株)タマディック  
(株)CRCシステムズ  
(株)コンピュータシステムエンジニアリング  
ネクストウェア(株)  
(株)第一コンピュータリソース  
(株)YCC情報システム  
(株)ホンダドリーム東北  
(株)アドックインターナショナル  
トヨタカローラ山形(株)  
(株)ケーヒン  
(株)ヨロズエンジニアリング  
(株)エヌ・ティ・ティファシリティーズ  
三菱電機ビルテクノサービス(株)  
(株)VSN  
(公務)  
独立行政法人国立印刷局

## 平成17年度 卒業・修了予定者進路状況

(3月3日現在)

学 科 名	卒業修了 予定者数	進 学 希望者数	就 職 内定者数	就職内定者内訳		そ の 他 自 営	求 人 会 社 数	求 人 数	求 人 率
				県 内	県 外				
機 械 工 学 科	34	12	22	8	14	0		426	19.4
電 気 工 学 科	34	11	23	3	20	0		394	17.1
制 御 情 報 工 学 科	37	20	17	5	12	0		289	17.0
物 質 工 学 科	32	18	14	3	11	0		190	13.6
専 攻 科	18	4	13	6	7	0		257	18.4
合 计	155	65	89	25	64	0	640	1,556	17.3